

医療法人アレックス 理学療法士

2022 年度(令和 4 年度)
新規採用募集案内

佐久平整形外科クリニック

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1311-7

上田整形外科内科

〒386-0018 長野県上田市常田2-15-16

都立大整形外科クリニック

〒152-0032 東京都目黒区平町1-26-3 2F

アレックス脊椎クリニック

〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

明大前整形外科クリニック

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-25

長野整形外科クリニック

〒381-0043 長野県長野市吉田5-26-23

AR-Ex 尾山台整形外科

〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

さいたま整形外科クリニック

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-35 大塚ビル3F



医療法人アレックス
理事長 林 英俊

理学療法士の皆さんへ

AR-Ex Medical Group は関節鏡視下手術、リハビリテーション、運動療法に特化した「スポーツ整形外科専門医療グループ」です。スポーツ外傷・関節疾患を治療する上で、最も重要と考える3つの治療分野（関節鏡視下手術：Arthroscopy、リハビリテーション：Rehabilitation、運動療法：Exercise）の専門スタッフがチームとなって外来から入院、そして復帰までと安心できる環境を整備し、完全サポートします。職員も探求心、高い意欲を持って日々の臨床を行っており、それを支える先輩職員も多くいます。

私たちの考えや活動に共感してくだされば幸いです。患者さんや選手のために日々研鑽し、理学療法士としての地位（Status）の構築をしていきましょう。

チームドクターとしてサポートしている選手・チーム

- ・読売ジャイアンツチームドクター
- ・KONAMI 体操部チームドクター
- ・内村航平専任メディカルサポートドクター

グループの取り組み

臨床

- ・各施設を繋げての医師との術前オンラインカンファレンスの実施（毎週）
- ・2020年 年間手術件数 579 件
主な手術：膝前十字靱帯（ACL）再建術（2018年東京都の前十字靱帯再建術件数第2位）、膝半月板縫合・部分切除、術肩腱板修復術（ARCR）、肩関節脱臼修復術（Bankart）、腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PED）、足靱帯縫合術、股関節唇形成術、肘離断性骨軟骨炎・軟骨移植術 など
- ・工藤慎太郎教授（理学療法士：森ノ宮医療大学保健医療学部）、成田崇矢教授（理学療法士：桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）による臨床指導
- ・土橋恵秀氏（ソフトバンク和田投手元専属トレーナー）によるスポーツ選手、患者さんにむけた運動連鎖の評価と指導
- ・各施設の教育・研究リーダー（横ラインメンバー）による臨床教育

※縦ライン：所属する施設の院長・副院長・医師・管理職・一般職員からなる施設毎の診療業務の体制
※横ライン：各施設から選出されたメンバーで構成され、最新・最高の治療提供をコンセプトに活動する

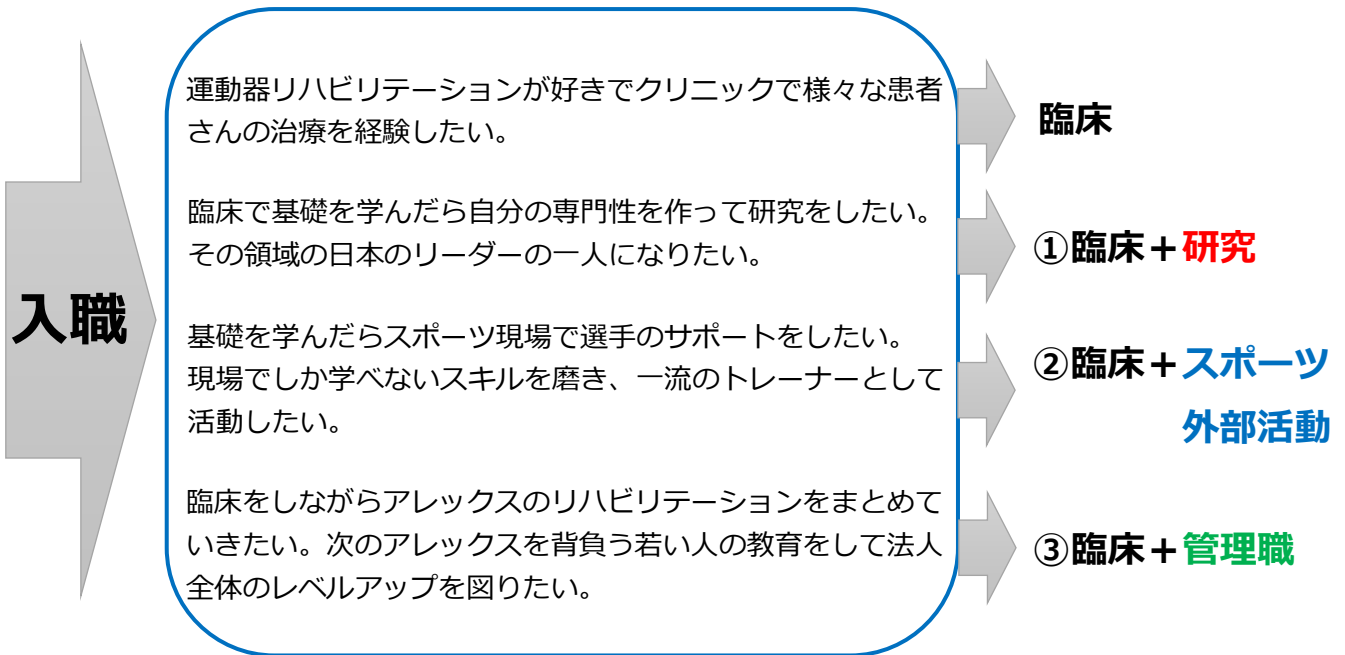
研究

- ・職員全員が集まって行う院内学会（アレックス学会）の開催（年1回）
- ・研修制度（年間予算 1000 万円超）を使用した学会参加・発表
学会発表 21 題、論文（和文・英文）9 編（2020年1月～2020年12月）
- ・横ラインメンバーによる学会発表および論文等の業績支援
- ・森ノ宮医療大学の工藤研究室との超音波を中心とした共同研究

スポーツ 外部活動

- ・野球：読売ジャイアンツ、東京大学硬式野球部、上田南リトルシニア野球部
- ・体操、新体操：コナミスポーツクラブ体操競技部、日本大学女子器械体操部、日本工業大学駒場高校体操部、埼玉栄高校男子体操部、国士舘大学新体操部、日本女子体育大学新体操部伊那西高校新体操部、TWIS
- ・サッカー：AC長野パルセイロ(J3)、長野日本大学高校サッカー部
- ・バスケットボール：信州ブレイブウォリアーズ、早稲田大学女子バスケット部、明星大学女子バスケット部
- ・その他：ルートインホテルズ Brilliant Aries（バレーボール）、東洋大学陸上部（女子長距離部門）
早稲田大学女子ラクロス、明治大学アイスホッケー部、東京都市大学アメリカンフットボール部
信州大学スケート、都市大塩尻高校女子バレーボール、長野日本大学高校バドミントン部
長野県国体チーム（スキー・アイスホッケー・バスケットボール）
トゥリトネス（水中パフォーマンスショー）
- ・学校事業：障害予防相談・指導、姿勢改善教室

入職からの将来ビジョン



①臨床+研究

「AR-Exは超音波に夢中です！」をコンセプトに自分の研究の方向性を決め、臨床で実力をつけていながら専門性を磨いて研究も行う。

- ・ 部位を決め横ラインに所属
- ・ 例えば森ノ宮医療大学
工藤研究室の研究員に所属

Status

研修費からの
学会・研修会補助

横ライン
特別手当

PT グレード別
資格手当

②臨床+スポーツ外部活動

医師や先輩 PT が常同するスポーツ現場と一緒にについていき学習する。
徐々に自分の関わっていくチームやスポーツ現場を作っていく。

- ・ スポーツ（種目）を決め
横ラインに所属
- ・ チームや近隣の学校に直接的、
間接的に関わっていく

Status

サポート選手
受診に対する
インセンティブ

横ライン
特別手当

PT グレード別
資格手当

③臨床+管理職

施設のリハビリテーション科をまとめる主任、法人のリハビリテーション部門をまとめる専門部長、施設全体をまとめる管理部長をめざす。

- 【主任】クリニック内での管理能力
の養成
- 【部長】本部の指導・教育で擁立

Status

主任手当

部長給与
年俸制

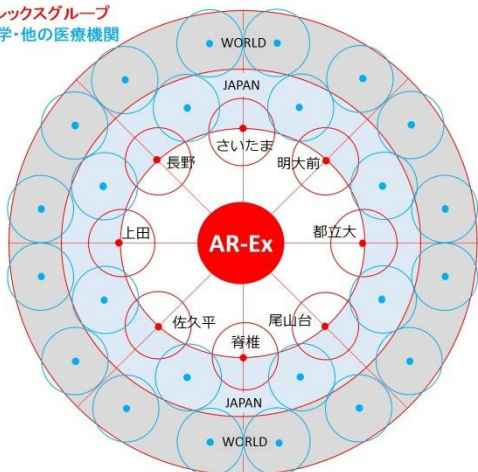
PT グレード別
資格手当

院内システムの紹介

○ネットワークシステム

電子カルテなどのデータ、動画、静止画、音声などの情報をセキュリティの高いネットワークを活用し、どこにいてもリアルタイムで送受信が可能となるシステムを導入しています。専門医による診察や指導、また術前カンファレンスや症例検討会や勉強会などに活用しています。

- アレックスグループ
- 大学・他の医療機関



○研修制度

学会・研修会への参加費の補助
森ノ宮医療大学へ超音波研究研修実施
海外でのキャダバートレーニング参加

○新人理学療法士の給与

月給 194,000 円 (基本給 + 資格手当)
※東京・埼玉は別途地域手当支給 (30,000 円)
※4 年目からは個別契約となります
※経験者はご経験により基本給を決定致します

○セラピストグレーディングによる資格手当

Grade I (1 年目) : 57,400 円
Grade II (4 年目) : 75,000 円 (内部試験合格者)
※3 年間の実績により 4 年目で Grade IV に到達可能

○サポートチームの選手の受診に対する評価制度

受診、治療の管理を行い、復帰のサポートをします

○外部講師による定期的な臨床指導

工藤慎太郎 教授 (理学療法士)
超音波画像評価を用いたリハビリテーション
rehabilitative ultrasound imaging (RUSI)
成田崇矢 教授 (理学療法士)
腰痛・脊椎疾患の評価と治療

【グレーディングの内容とモデル給与 (地域手当別)】

- Grade I : リハビリテーションを実施していく上での基本的思考能力と解決能力を養成していく期間 (新卒から 3 年間)
- Grade II : リハビリテーションを実施していく上での基本的思考能力と解決能力を備え、治療アルゴリズムを理解し実践できる 221,600~236,600 円
- Grade III : 専門的な知識・技術を持ち治療のコーディネートができる 臨床面における教育をスタッフに実施する 226,600~251,600 円
- Grade IV : 臨床スキル、学術的スキルとともに職員のシンボリック的存在となり教育する 治療方法を医師に上申することができる リハビリ部門の管理運営を補佐していく 241,600~301,600 円

Status と福利厚生の向上



役職手当 (主任・部長)
インセンティブ (サポート選手の受診)
特別手当 (セラピストグレード・横ライン)
研修制度の利用 (費用の補助・一部補助)
治療アルゴリズムの理解と実践 : PT 資格手当

先輩の指導を受けながら自分の得意な分野、専門分野を見つけていきます。
その分野でステップアップを目指し Status と福利厚生が向上するようにしていきます。

— スポーツ・難治性疼痛外来 —

- 体外衝撃波治療
- 超音波ガイド下組織間リリース
- 選択的神経ブロック
- PRP 治療
- リハビリテーション

トップレベルのスポーツ選手の治療経験を元に、その方法を患者さんに還元していきます。MRI・CT・超音波検査などを用いて痛みの原因を詳細に診断した上で治療を行っています。スポーツ難治性疼痛外来で行っている特殊な治療は、患部の状態を改善するにすぎません。症状を取り除き、再発を防ぐためには原因への対処が必要です。そのためには患部周囲のコンディショニングや患部の組織の状態を改善するリハビリテーションが有効です。今、私たちは多くの選手や患者さんが体外衝撃波治療を受けられる様に集中型の治療装置と拡散型の治療装置を都立大、明大前、尾山台、さいたま、佐久平、上田、長野と環境を整え治療を受けられる様に進めています。



— 関節鏡視下手術 —

関節内に原因のある疾患の多くは、「関節鏡」という内視鏡手術により完治を目指すことが可能です。この手術はとても緻密な作業で、高い技術力を必要としますが、最小の傷で関節内部の障害を治すことができます。また、関節鏡を用いると関節の中を観察できるため、どの部分が傷んでいるのが正確に分かり、術後のリハビリテーションや運動療法を的確に行うことができます。アレックスでは全身の関節鏡視下手術を行い、術後早期よりリハビリテーションを開始し、選手や患者さんの早期復帰を目指しています。

【2020 年度年間手術件数 579 件】



— 超音波画像評価を用いたリハビリテーション —

森ノ宮医療大学の工藤慎太郎教授（理学療法士）に定期的に臨床指導にお越しいただき、リハビリテーションに生かす超音波画像評価 rehabilitative ultrasound imaging (RUSI) を学んでいます。

臨床指導では超音波を使って筋の滑走、機能障害の評価、エクササイズの効果判定など幅広く指導していただいております。また症例報告会を通して研究活動の指導もいただき学会発表に向けてのアドバイスもいただいております。

工藤先生が講師を務められる RUSI workshop にも職員がアシスタントとして参加させていただき、動態評価のスキルを身につけ、運動器の超音波評価のスペシャリストを目指して系統的に学んでいます。



— 腰痛・脊椎疾患の臨床指導 —

桐蔭横浜大学の成田崇矢教授（理学療法士）にアレックス脊椎クリニックに定期的に臨床指導にお越しいただき、脊椎疾患の評価と治療方法を指導していただいております。患者さん一人一人の病態をシステムチックに判別する機能評価を行い、病態に応じた治療の戦略を立てていきます。臨床指導には脊椎クリニックの職員以外も参加する事ができ、グループ全体の施設で腰痛など症状や脊椎の疾患で困っている患者さんへの対応が可能となっております。

—グループ内の研修—

新人研修は理学療法士として患者さんに対応する際に必要な知識や評価・治療に関わる実技の研修と社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルなどの一般教養を Web や OJT にて実施しています。

新人の理学療法士から経験を積んできている理学療法士までグループ全体での治療技術や知識を高めるために様々な研修を行っています。座学では患者さんの症状から系統立てて臨床推論や症例報告会を行い、実技研修では触診やエコーの動態評価、治療技術を身に付ける研修会を行っています。

患者さんにはできるだけ早く、そしてもっと良くなってほしいと思い、日々研鑽しています。



—超音波画像評価研修—

医師の指導のもと理学療法や柔道整復師、トレーナーや看護師など多くの職員が「AR-Ex は超音波に夢中です！」というコンセプトに患者さんの痛みの原因を正確に把握し治療に役立てるため、また専門性を身につけていくために超音波画像診断装置での評価方法の研修を行っています。

筋肉や腱、骨軟骨組織や末梢神経、神経絞扼部位（entrapment point）を超音波画像診断装置で正確に抽出できるように日々研修しています。

2023 年に行われる第 33 回日本整形外科超音波学会は当グループの平田正純医師が学会長として東京で開催します。



—運動連鎖塾—

福岡ソフトバンクホークスの和田投手をはじめ、多くのプロ野球選手のパーソナルトレーナーの務め、またオリンピックや WBC への帯同経験のある土橋恵秀氏にスポーツ選手に対する運動療法の指導をしていただいております。

スポーツ選手の痛みを出している局所の治療と合わせて、痛みを引き起こす原因となる部位に対するアプローチとして動作の評価・運動連鎖の評価に基づき指導していただいております。

各施設には定期的にお越しいただき選手への運動療法の指導のみでなく、職員に対しても運動連鎖の評価について指導していただいております。



—元プロ野球選手の野球教室—

元読売ジャイアンツの寺内崇幸氏、脇谷亮太氏、山口鉄也氏を講師にお招きして野球選手や家族、指導者などを対象とした野球教室を開催しました。野球の怪我や予防方法、野球が上手くなるためのコツを教えてくださいました。職員も参加者と共に講演を聴き、選手の視点や考え方を学ぶ機会となりました。

この教室も継続的に開催していきクリニックの患者さんだけでなく地域の野球に関わる方々への情報発信の機会としていきたいと考えています。





竹内 大樹 リハビリテーション科統括責任者、メディカルリサーチセンター部長

スポーツ傷害や関節疾患の治療において理学療法士の存在は非常に重要かつ、なくてはならない立場となっています。また、近年では整形外科分野において体外衝撃波治療やPRP治療などに代表されるように多くの新しい治療法が開発されてきており、それは理学療法士にとっても存在意義が見直される大きなチャンスです。職員は探究心も高くそれを満足させる臨床、教育、研究の環境が用意されています。職員一人一人が自分自身の仕事や理学療法士という仕事にやりがいや誇りを感じられる環境、仕事の形を作っていくことを念頭に置いた様々な環境整備をしております。私たちの考えや活動に共感していただけたら幸いです。患者さんや選手のために一緒に研鑽していきましょう！

私たちアレックスで活躍している理学療法士



増田 泰輔 2021 年資格取得（1 年目）

私は1年目から脊椎疾患に特化したクリニックである、アレックス脊椎クリニックに勤務しています。学生時代に腰椎疾患について興味を持ち、臨床の現場でより腰椎疾患について理解を深め、腰椎疾患で困っている患者様の力になりたいと思い、1年目より脊椎クリニックでの勤務を希望しました。自身の専門性を確立するために、アレックス脊椎クリニックの医師や先輩理学療法士から日々指導をしていただけるので、理学療法士として成長をしていける環境だと感じています。また、社会人としての基礎や人間性も磨ける環境であると感じています。

脊椎という非常に難しい疾患ではありますが、新人研修や現場でのOJTが手厚いため安心して臨床に臨んでいます。脊椎疾患に興味がある方は是非、一緒に勉強しながら多くの患者さんを救える力をつけていきましょう。



片桐 章徳 2020 年資格取得（2 年目）

私は長野整形外科クリニックに勤務しています。私は医療とは異なる職種から転職し理学療法士になりました。アレックスへの入職理由の一つに、新人研修が設けられていることがあります。約2ヶ月間、勤務時間の午前にはオンラインでの講習があり、理学療法における問診、病態、医療安全など幅広く学びます。OJTとして、臨床実習のようにバイザーPTに付き添い、治療の見学説明を受けながら、徐々にリハビリ業務に従事していきます。このような研修システムにより、私は入職直後の不安を少しずつ払拭し、自信に繋げながら臨床に臨むことが出来ました。有志による勉強会も開催され、入職年数や経験年数問わず学習、フォローアップ体制が構築されており、理学療法士としてのやりがいを実感しながら、日々の臨床に励んでいます。



小尾 渚 2018 年資格取得（4 年目）

私は腰に特化した理学療法士を目指しアレックス脊椎クリニックで働いています。臨床での不安もありましたが、アレックスは入職してから研修会や勉強会が豊富で、自信を持って治療にあたる事が出来るようになりました。森ノ宮医療大学の工藤慎太郎先生が定期的に臨床指導に来てくださるので、臨床での疑問点に対し直接アドバイスを頂くとともに、超音波を用いたアプローチ方法をご教示頂いています。このようなとても恵まれた環境で仕事が出来ることとても感謝しています。また、学術大会に初めて参加し、多くの事を学ばせて頂きました。私も日々の臨床で感じた疑問や学んだことを活かして学術大会での発表を目指し、充実した日々を送ってきたいと思います。



金井 陽太郎 2015 年資格取得（7 年目）

私は長野整形外科クリニックでの日々の臨床以外に、スポーツ現場や地域でも活動しています。高校のサッカー部、中学校のバレーボール部でのトレーナー活動や長野市のサッカー協会と連携して大会会場にトレーナーブースを設置して救護活動を行っています。他にも近隣小学校の健康増進活動としてオリジナル体操の作成・指導も行っています。地域密着型クリニックのスタッフとして、日々の臨床の経験を生かし幅広く活動ができ、とても充実した日々を送っています。



多田 智顕 2013 年資格取得（9 年目）

さいたま整形外科クリニックでの臨床業務と、教育、研究リーダー（横ラインメンバー）として活動しています。理学療法士としてスキルを高めるためには、臨床・教育・研究が重要だと思います。この3つをバランスよく活動していきたいと考える人にはアレックスグループのシステムはよい環境だと感じています。整形外科理学療法に興味を持つ人には勉強になると思います。僕らと一緒に理学療法士としてスキルアップしていきませんか？



勝又 佑奈 2012 年資格取得（10 年目）

都立大整形外科クリニックで臨床業務とリハビリの主任として後輩育成を行なっています。私が臨床で大切にしていることは、挨拶・知識技術の研鑽・共感です。これは学生時代から指導されていることですが、それにより通院された患者さんからご友人や知人の方を信頼して紹介して頂いております。患者さん多くの笑顔を見ることが出来て、嬉しいのと同時に理学療法士としてより一層の努力をしなければと思います。一般整形、スポーツ整形を勉強したいと考えている方、ぜひAR-Exと一緒に働きましょう。



佐久平整形外科クリニック
上田整形外科内科
都立大整形外科クリニック
明大前整形外科クリニック

長野整形外科クリニック
AR-Ex 尾山台整形外科
アレックス脊椎クリニック
さいたま整形外科クリニック



医療法人アレックス(本部)

〒385-0022
長野県佐久市岩村田 1109-4
TEL : 0267-66-7130
<https://ar-ex.jp/>



ご質問やお問い合わせは
お気軽にご連絡下さい。
担当：兼子 昌幸
E-mail : jinji@ar-ex.jp